



# サステイナブルな資本主義の実現 を通じたSDGsの達成に向けて

2020年11月27日

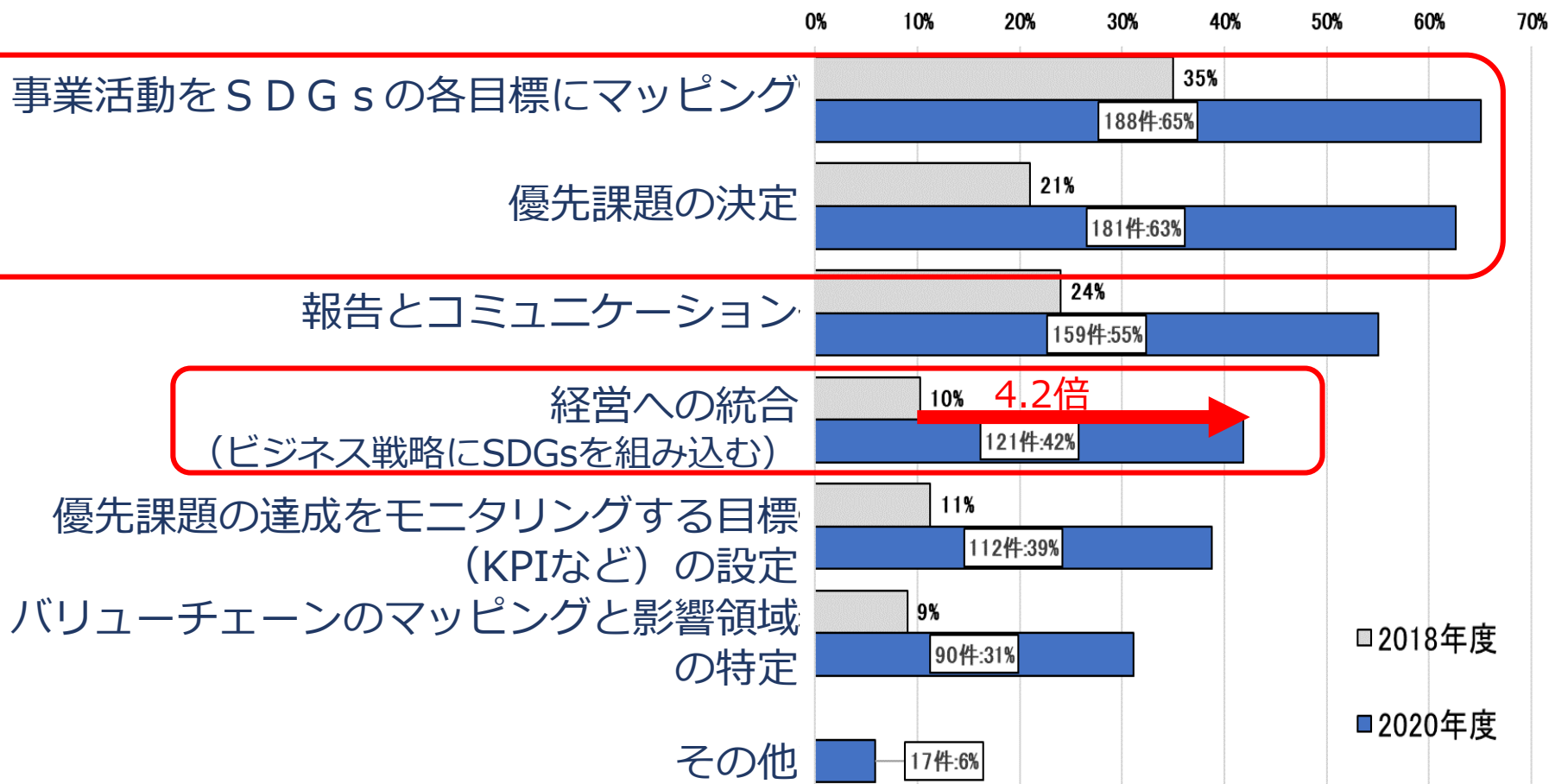
経団連企業行動・SDGs委員長

二宮 雅也



【回答状況】 調査対象： 経団連企業会員 1,447社、回答数：289社、回答率：20.0%  
 【調査期間】 2020年7月～8月

【図表1 SDGsを活用した取り組み】



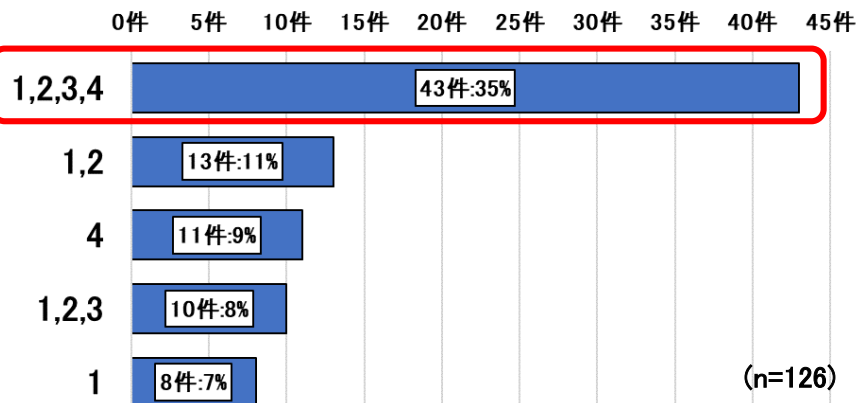
※構成比(%)は、「項目別回答数/調査結果回答数(289件)」 (2018年度：302件)

# SDGsへの取り組みへの評価

- SDGsに貢献する取り組みの評価については、**72社から126件**の実施事例が挙げられた。
- 寄せられた事例の中では、各社の**中期経営目標に基づくマテリアリティ**を対象に、**SDGsと自社独自の評価指標**を用いて進捗を評価し、結果を報告するものが多い。
- 他方、SBTガイダンスを用いた評価、インパクト投資による評価、SROI分析（コレクティブ・インパクト測定）（注7）、シナリオ分析、社会実証実験による評価など、多用な評価手法が用いられており、社会的インパクト評価をはじめ、評価手法が確立されていない中で、**各社は試行錯誤**をしている。
- 今後、企業行動・SDGs委員会にて今回収集した事例のヒアリングを行い、今年度末を目途に、社会的インパクト評価をはじめ、SDGsへの取り組みの評価における課題や改善方法をまとめる予定。

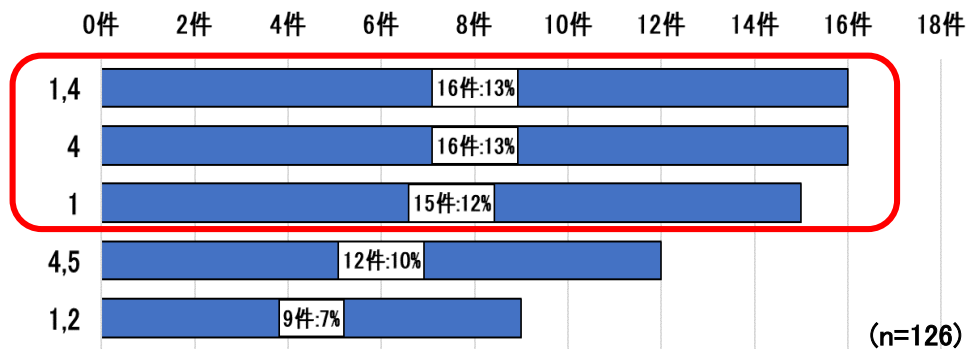
【図表2 評価のために実施している項目】

- (1) 評価のために、事業で達成しようとするアウトカムの特定を行った
- (2) 特定したアウトカムに対して、測定する指標を設定した
- (3) 指標を活用し、実際に測定・分析を行った
- (4) 分析結果を報告・公表した
- (5) その他



【図表3 活用した評価指標の組み合わせ】

- (1) SDGsの17目標
- (2) SDGsの169ターゲット
- (3) SDGsの230指標
- (4) 独自の評価指標
- (5) 自社の重要評価指標（KPI）
- (6) その他



※上位5つの組み合わせのみ



2020年11月17日 経団連

## —Society 5.0によるサステイナブルな資本主義の確立—

資本主義がサステイナブルであるためのカギは、  
マルチステークホルダーの多様な価値の包摂と協創  
企業は、マルチステークホルダーとの対話を通じて、彼らの要請を包摂し、  
価値を協創していくことでもってのみ、持続的な成長を遂げることが可能に

そのカギとなるのがDX

DXは、社会課題を可視化し、全体・部分最適を両立させ、多様な価値を創造

DXの下で「課題」を見出し、「価値」とそのバランスを決定するのは「人間」であり、  
サステイナブルな資本主義の中心に来るのは「人間」の英知  
これは正に、DXに多様な人々の想像・創造力をかけ合わせて  
課題解決・価値創造を図る創造社会、Society 5.0に他ならない

# Society 5.0

# 2030年の未来像

多様なステークホルダーの英知を結集し、DXにより多様な価値を協創する  
Society 5.0で**サステイナブルな資本主義**を確立

2027 2028 2029 2030

2030年にわが国及び世界において  
実現したい未来像を、  
5つのステークホルダーとの  
価値協創を軸として描く

## 働き手との価値協創

柔軟な働き方や  
多様で複線的な  
キャリアが実現する社会

働き方の変革

個人の価値創造力が最大限発揮  
され、社会全体の生産性が向上  
ワーク・ライフ・バランス改善  
による出生率回復もあいまって  
持続的成長を実現

わが国の主体的な関与により  
グローバルに連携する社会

## 国際社会との価値協創

国際経済秩序の  
再構築

主体的に経済安全保障を確保しつつ、  
自由貿易投資体制の拡大・深化を主導  
国際連携のもとグローバルな課題解決に  
取り組むことで、国際的な持続成長を実現

DXを通じた  
新たな成長

## 生活者との価値協創

DXにより生活者が暮らしやすさを実感する社会

ヘルスケア、学び、サプライチェーン、  
行政のDXにより生活者の体験価値を最大化  
国際展開を通じて新たな成長を実現

## 地域社会との価値協創

地方創生

地方の強みを活かし  
価値を生み出し続ける社会

地方への人材還流が進み、  
多様な主体が地方で価値を協創  
エコシステムが地方成長の核に  
レジリエントでサステイナブル  
な地域経済社会を実現

地球環境の持続可能性と  
豊かな生活が両立する社会

## 地球の未来との価値協創

グリーン成長の  
実現

「2050年カーボンニュートラル」を  
目指すべき社会の姿として掲げ、国を  
挙げてイノベーションの創出に挑戦  
技術の展開で世界のグリーン化に貢献

Society 5.0の実現  
II  
サステイナブルな  
資本主義の確立